

## 1. 訓練業務／認定業務

以下の業務は、本法人の本来の業務（盲導犬育成）としておこなったものである。

### 1.1 候補犬の確保（繁殖・譲受・購入）

自家繁殖により7頭が誕生、他団体より仔犬1頭を譲受、成犬2頭を購入した。また、個人より成犬1頭の寄贈があり、合計11頭の盲導犬候補を新規に確保した。ただし、後述のように、自家繁殖で誕生した仔犬7頭のうち4頭を関係団体へ譲渡した（1.7 参照）。

### 1.2 研修会・訪問指導

仔犬飼育ボランティアを対象とした合同研修会「しつけ教室」を4回開催。各家庭を訪問しての個別指導を11回おこなった。

### 1.3 犬の訓練（基本訓練、誘導訓練）及び飼育（通院等の健康管理を含む）

14頭（延べ数）の犬に対して、盲導犬候補としての飼育、及び訓練をおこなった。そのうち5頭を盲導犬として認定、5頭をキャリアチェンジ犬として譲渡した。他の4頭のうち1頭を繁殖犬として確保、残りについては引き続き次年度に訓練をおこなう。

### 1.4 フォローアップ

盲導犬使用者11名に対して現地での定期フォローアップをおこなった（合計14回）。また、非定期の現地フォローアップを1名に対して2回、電話によるフォローアップを1名に対して3回おこなった。

### 1.5 共同訓練・認定

視覚障害者5名について共同訓練をおこない、5頭を盲導犬として認定した（茨城県1頭、東京都2頭、神奈川県2頭）。このうち2頭が自治体の身体障害者補助犬給付事業（茨城県、神奈川県）であった。また、認定した5頭は全て「代替」であった。

### 1.6 返還

本年度には2頭が引退し、返還された。

### 1.7 譲渡

自家繁殖にて誕生した仔犬7頭のうち2頭を恵光導盲犬学校（台湾）へ、1頭を（公財）日本補助犬協会へ、1頭を（公財）東日本盲導犬協会へ譲渡した。

### 1.8 後進の育成

訓練士研修生の募集をおこなったが採用には至らなかった。

一覧：保有犬の訓練／新規確保の状況（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

訓練した犬（延べ数）			確保した犬		
14			11		
盲導犬認定	進路変更（譲渡）	訓練継続／他	自家繁殖	譲受／寄贈	購入
5	5	4	7-4=3	2	2

一覧：保有犬の状況（令和7年3月31日現在）

盲導犬	訓練犬	繁殖犬	広報犬	仔犬	CC犬	合計
13	3	4	3	3	1	27

## 2. 広報啓発業務

以下の業務は、日本における盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業に対して社会の理解を求める目的でおこなったものである。

### 2.1 出張講話・デモンストレーション

視覚障害と盲導犬についての講話（一部、実演を含む）を、依頼を受けて16回おこなった（企業、社会福祉協議会、小学校、高等学校、動物専門学校、教育委員会、その他団体）。講話の主な対象者は次のようであった：小中学生と保護者、高校生、専門学校の学生、企業職員、その他、福祉に関心を寄せる成人

### 2.2 イベント参加

企業や団体が開催するイベントに職員、役員、広報犬が参加し、広報啓発活動を展開した（12回）。主な参加先は次のようである：県内の企業や公共団体が主催する地域のイベント、視覚障害者関連団体の主催するイベント、県内ライオンズクラブが関係するイベント

### 2.3 イベント共催

株式会社パリミキと「ロービジョン商品体験会」（8月3日、イオンタウン守谷店）を共催し、視覚に障害を持つ人々向けの視覚補助具を幅広く展示する体験会の一環で盲導犬の紹介やデモンストレーションをおこなった。

### 2.4 イベントの主催

本法人が主体となり、視覚障害と盲導犬に関する啓発を主たる目的としたイベントを次のように開催した。

#### 2.4.1 盲導犬写真パネル展示（令和 6 年 8 月 15 日～8 月 20 日／対象：7600 人）

株式会社水戸京成百貨店の協力のもと、同百貨店の催事場に盲導犬に関する写真を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう務めた。

#### 2.4.2 盲導犬の講話とコンサートのイベント（令和 6 年 10 月 26 日／対象：約 80 名）

赤い羽根歳末たすけあい募金の助成を受け、盲導犬と視覚障害者に対する理解を促すイベントをひたちなか市文化会館にて開催した。イベント前半では経験豊富な現役盲導犬ユーザーが盲導犬をテーマに講演、後半では視覚障害者と盲導犬ユーザーの演奏家（夫妻）によるコンサートをおこなった。

#### 2.4.3 盲導犬写真パネル展示（令和 6 年 11 月 4 日～11 月 9 日／対象：不特定多数）

ひたちなか市の商業施設、ニューポートひたちなかファッションクルーズの協力のもと、本館 2 階に盲導犬に関する写真を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう務めた。

#### 2.4.4 盲導犬写真パネル展示（令和 6 年 12 月 10 日～12 月 27 日／対象：約 800 人）

ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社の協力のもと、ひたちなか市勤労者総合福祉センターにて盲導犬に関する写真パネルの展示をおこない、来所者の方々に盲導犬育成事業について関心を持ってもらえるよう努めた。

なお、以上に展示した写真は全て MOON LIGHT 小沼渉写真事務所（水戸市）が撮影し無償提供。

### 2.5 支援団体との共同活動

ボランティアグループ・ローリー（本法人の支援ボランティアグループ）、東海ライオンズクラブの活動へ職員、役員、広報犬を派遣し、共同で盲導犬普及啓発活動と募金活動をおこなった：京成百貨店 106 回、ニューポートひたちなかファッションクルーズ 12 回、イオン東海店 12 回、東海村役場 12 回、JR 勝田駅 8 回、その他 11 回

### 2.6 資料配布

上述した機会において、日本の盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業の概要をまとめた資料「配布用資料」（年度内 3,000 部増刷）、並びに本資料の要点を抜粋した栞サイズのチラシ（年度内 6,000 部印刷）を配布し、盲導犬育成事業への社会の理解がより深まるよう務めた。

## 3. 財源強化充実のための取り組み

広報活動を通じて個人、団体、企業へ支援の働きかけをおこなう他、安定した運営資金を確保するため募金活動を頻回におこなうように努めた。支援団体と共同でおこなった街頭募金活動は合計で 161 回となった（2.5 参照）。

#### 4. 寄附金の使途報告

ここでは令和 6 年度の寄付金・助成金のうち、具体的な使途の報告が条件であった寄附金・助成金について、その金額と使途について報告する：

- かすみがうらマラソン大会実行委員会からの寄附金（328,482 円）

使途：保有犬の医療費（検査含む）に要した 747,455 円の一部（≒44%）に充当した。

#### 5. その他

##### 5.1 理事会・評議員会の開催

理事会		評議員会	
第 1 回	令和 6 年 6 月 11 日（決算理事会）	定時	令和 6 年 6 月 11 日
第 2 回	令和 6 年 6 月 11 日（選任理事会）		
第 3 回	令和 6 年 12 月 19 日	臨時	令和 6 年 12 月 19 日
第 4 回	令和 7 年 3 月 21 日		
開催場所：本法人の主たる事務所、または本法人東海村分室会議室			

##### 5.2 評議員・役員の退任と着任

退任	加藤明博	評議員	令和 6 年 6 月 11 日
退任	松澤諭	理事	令和 6 年 6 月 11 日
着任	加藤明博	理事	令和 6 年 6 月 11 日
着任	大武正明	監事	令和 6 年 6 月 11 日
着任	水谷由美	理事（業務執行理事）	令和 6 年 12 月 19 日
上記以外の評議員・役員は全て重任			

##### 5.3 インターンシップ

動物学・動物科学を専攻する大学生 1 名に対し 7 日間の就業体験の機会を提供した。

##### 5.4 犬舎の改修とクラウドファンディングの開催

犬舎内における通気性、及び採光性を大幅に向上させる目的で、犬舎に窓や通気口を新たに設置、各犬室を隔てる壁を低く設置し直す改修をおこなった。改修工事の費用はクラウドファンディングを開催(自 4 月 1 日至 5 月 31 日)し調達することができた。クラウドファンディングでは 3,525,000 円の支援が集まり、工事費用を上回った。手数料を省いた差額は犬の医療費や犬具の購入費等の盲導犬の育成に必要な費用に充当した。

#### 5.5 他団体主催の行事等への参加（広報啓発業務以外）

助成金、目録等の受け取りや自己紹介、挨拶をおこなう目的で、ライオンズクラブの周年記念や例会、仏寺主催の法事等、他団体の主催する行事に職員や役員、広報犬が参加した。

#### 5.6 付属明細書

本報告書に補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は作成しない。

以上、令和7年5月20日、理事会にて承認、同日、評議員会にて報告